

# こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2015. 2.15  
自 宅 872-9324 高知市福町1475-3 No. 421



## 一 沖縄に連帯し、戦争する国づくりを許さない高知県民昼休み集会開催

2月5日、昼休み時間に、高知市役所前で開かれた沖縄県民に連帯する集会に、日本共産党県議、市議、浜川サチ子議員などもかけつけました。「美しい海に基地はこれ以上つこうぜやない」との県民の意志を無視して、コンクリートブロックをなげ込みはじめた政府の姿は、あまりにも異常です。戦争への道は許さない!!と声をあげました。

## てくてく歩記 (418)

「山は動く、という言葉。先日鏡地域の横矢にお泊りして実感しました。のどかな、遠くには海も見ることのできる山の上は、63年に地すべり指定地域になっていて、水路をつくるなど、13年間工事が行なわれた場所です。いつか落ちついでいるかのように「げんが」昨年8月の大雨以来、また動きがでていじりごとのこと。県も調査、観測はしていますが、定期的な報告がないとのこと。農業振興部の農業基盤課を通じてしつこくした対応をしてほしい。申し入れました。地球は生きていて、山は動いていることを再認識。どうつきぬいていくか、ぬいぬい人間の対応が求められています。

## とさでん交通 福祉の視点で改善を!

12月県議会で、吉良富貴議員が代表質問にたちよとさでん交通についていただきました。高知市は、車両を低床のバリアフリーで統一したり、利用者が平均で約2倍、休日では3.4倍に増加した。出かけるやすいので、65以上の平均年齢は63歳と全国平均を100歩近くうまわり、高知市長は「歩数増加で健康増進の効果がおり、匠済費換算で年間約2万円程度の効果」と話しています。

高齢化先進県として、公共交通には生活者の権利保障や福祉の観点が必要不可欠です。利用しやすい交通機関となれば、利用者もふえ、匠済費抑制、地域商店の活性化にもつながると、対応を求めました。

**低床バス導入を5割にすると答弁**  
運輸担当理事が答弁に「順次、路線バスの低床車両化を進め、導入率を現在の2割程度から、5年後には5割程度まで引き上げる目標をたてるなど、計画的に車両のバリアフリー化を進める」と高知市や障害者などの交通弱者に配慮することは、持株可能な公共交通を実現していくうえで、大切な視点です」となりました。

## 23日から県議会開会 - 3月19日

来年度予算を審議する2月県議会が2月23日から3月19日まで予定で開会されます。社会保障を切り捨て、TPP参加に前のめり、農協の解体など、本党はひどい安倍政権の暴走をい止める論戦をさせていただきます。代表質問に塚地議員(3月2日)予算委員会質問に中根(6日)、米田議員(7日)が立つ予定です。お気軽に、ご意見、ご要望をお寄せください。